6月号 広報 1991

# せと

No.218
平成3年6月20日発行
発行所 瀬戸町役場
☎0894㈹52−0111
〒796-05 愛媛県瀬戸町三机
編集 企画課

## とれたての魚でバーベキュー

# “海の集い”

大久VA主催

−関連記事2〜3P−

今月は、まちづくり月間です

# 今年も大漁 地引網

## 大久ＶＡ主催「海の集い」

「村おこしは、自分たちの手で。」を合言葉にスタートした〝海の集い〟が、去る五月二十六日（日）、大久海岸で盛大に開かれました。早朝より晴天に恵まれ、会場である大久西海岸では、地引網、子供たちによる相撲大会、宝探しなど多彩な催し物で一日中にぎわっていました。

みんなでヨイショと。

午前十時ごろ、二そうの船が約三百メートル沖へ出て網が沈められ、「みんなひっぱれ～。」の合言葉で、待ってましたとばかりに家族連れ、地元のチビッ子ら約五百人が二手にわかれて引っ張り合う。「ヨイショヨイショ」の掛け声でじっくり三十分。波打ち際に姿を出した網には、タイやアジやイカなど勢いよく飛び跳ね、子供から大人までがわっと周りを囲み、歓声が海上までこだましていました。

地引網を終え、早速漁港で採れたての魚やイカをメインにバーベキューが始まり、地元婦人達による手作りのタイめし、焼とうもろこしなど炭火を囲んで海の幸に満足顔がいっぱいでした。また、今回は学校交流ということで、大洲市の上須戒小、伊方町の水ケ浦小の児童の顔もみられ、宝探しや相撲大会もいっしょに砂まみれになりながらの交流でした。

ＶＡ大久のメンバーらは、お盆帰省客との交流ということで夏にもと、早くも意気込みをみせています。地域の若者が、がっちりとスクラムを組み、地元を誇りに思う姿に、なにかしら大久地区のパワーを感じました。これからも、活気あふれる大久……瀬戸町であることを期待します。

### ひとことインタビュー

大久小六年 上村 満雄君

ぼくたちは、地引網の日に、大洲市立上須戒小学校と交流会をした。

学校・自己紹介をしたが時間の都合で、予定していた「山の子・海の子への質問」ができなかったので残念だった。

一緒に網を引いたり、船に乗ったりして、交流を深めることができ楽しかった。

大久小四年 山本 吏沙さん

みんなでつなを引っぱりました。だんだん黄色のあみが見えてきました。わたしたちは、「もうちょっとで魚がとれるぞ。」と思いました。くらげやいか、いろいろな魚がいました。

男子がいかにすみをかけられ、手がまっ黒でした。とれた魚も焼いて食べました。とても楽しい一日でした。

水ケ浦小四年 大黒 美沙さん

みんな顔を真っ赤にしてあみを引きました。ゆっくり、そして力を入れて、よいしょよいしょ。どんどんロープを引く速さが、速くなってきました。黒いロープから、白いロープに、変わって、やっと、赤いあみが、砂浜に見え始めたと思ったら、「パチャパチャ。」魚が、元気に飛びはねていました。その魚、たくさん入ったごはん、おいしかったな。来年もあるといいな。

上須戒小六年 芳我 信浩君

ぼくは、生まれて初めて地引きあみをしました。大きなあみをみんなで力を合わせてひきました。そして、たくさん魚やイカがとれてうれしく思いました。

大久小学校の皆さん、今度は上須戒へぜひ来て下さい。楽しみにしています。

子供相撲大会

魚とれたかな？

大漁だ！

### 大久地区「海の集い」に思う

大久地区公民館主事 佐々木 和夫さん

地域づくり、村おこしといった言葉がつかわれて久しい。このような言葉に関心を持ち、難かしい言葉より身近な行事として、何か「やってみようや」と始めた「海の集い」も五年が経過し、地区の年中行事に定着しつつある。定着しつつあるが、住民の意識としてまだまだボランティアの域にはほど遠いのではないか。金を出す人が客で、受け取る側がサービスをする。といった商業原理を地域活動にあてはめている間は、真の地域文化にはならないのではないか。

活動の発端は、地域の特性を活した「物」を探し、地域のイメージアップを図りたいとの考えで始めた。そこで、地引網が選ばれこの活動を有意義なものとし、相乗効果を上げたいと「外国人との交流」「山の子との交流」や「お盆帰省客との交流」等、人と人の触れ会いの場とした活用が、外部からも高い評価を得ている。このような活動を通して、郷土の良さや、連帯意識が生まれ、細く長く続くことを期待し、がんばっていきたいと思う。

# 佐田岬十三里は1つ 海道シンポジウム開催！

〝ふるさと佐田岬半島を海から見直そう〟と十三里いもの会主催による「岬十三里海道シンポジウム」が五月十八日十九日の2日間開催されました。国道197号メロディーラインの開通に伴い、昔の交通手段であった海は、ほとんどつかわれなくなった。そこで、今改めて、海から半島を眺めふるさと再発見再認識してみようと県内よりまちづくり関係者ら四十人が集いました。

五月十八日、午後二時から三崎町でシンポジウムの開催。会場の三崎町漁協は一市五町よりPR用ポスター、特産品などが展示され、また特産の清見の甘い香りが広がり、菊池三崎町長のあいさつで開会。続いて、お国自慢方式で我が町紹介が始まりました。保内町は、平家谷のそうめん流しと幕末の医者である二宮敬作、三瓶町は朝日文楽、伊方町は伊方杜氏、瀬戸町はジャンボ風車と風車トマト、八幡浜市は飛行機の父二宮忠八翁、三崎町は美味で勝負とオープンした三崎漁師物語と、我がまちについて熱っぽく語っていました。また、スライドによる半島ウォッチングもあり、地域外から参加された方々の半島の感想も出ていました。

ひき続いて、「佐田岬灯台へ夕日を見にいこう。」ということで、灯台までの道のりをヨイショと灯台ウォッチング。雄大な自然をバックに沈んでいく夕日を眺めながら、参加者全員で自然のすばらしさを満喫しました。

また、夜なべ談議ということで、オープンしたばかりの三崎漁師物語で採れたての海の幸で佐田岬の味を満足いっぱいの様子でした。

五月十九日、午前八時三十分から海上ウォッチングへ出発。まずは、三崎町の伽藍山に登り瀬戸内海と宇和海を眺望し、阿弥陀池周辺を散歩。いよいよ、陸上から海上へと。大島行きの定期船「たいゆう丸」に乗り込み、宇和海をクルージング。海士が漁をしている姿を見学することができたり、昼食は地元大久の若い主婦たちのタイ飯をごちそうになることができました。再び船上から川之浜海水浴場、堀切り大橋、ジャンボ風車を観覧。普段車で見なれている風景が、海の上からだと集落全体が目に入りなんとも親近感をおぼえました。伊方町に入り、プールのあるコーストMURO、女子岬を見ながら、保内町の川之石港へ入る。下船した参加者は、小雨の中を保内町の町並み見学へ、明治時代の面影を残す建物がこんなにもあるのかと驚きでした。

また、このシンポジウムの様子を、ビデオカメラが同行ということで、NHK松山放送局、八西CATVの皆さんの取材がありました。

この一泊二日の〝ふるさと再発見・海道ウォッチング〟を通して、いろいろな人との出会いがあり、海から自分のまちをみることができました。十三里いもの会では、今回出会った同志による人間ネットワークを活かし、それぞれの町で個性ある地域づくりに頑張ろうと、意気込みをみせていました。これからも、佐田岬半島を一つの舞台としたまちづくりへと広がっていくことを期待します。

夜なべ談議の様子

## 地域外からの声 『佐田岬へアドバイス』

○山本幹男氏（松山市）
シンポでは、学習会の部分、ウォッチングの部分飲みにケーションと軟硬おりまぜた演出は良かったと思います。又、地元の人と地域外の人とがうまく交流できたのではと感じます。
半島部の活性化には
1町のレベルをこえた広域化
2第二国土軸の具体化を予見した取り組みの展開。
3陸地部の開発よりも、海を中心にすえた方向で考えるべき。

○守谷和久氏（川之江市）
佐田岬地域の活性化方策
1経済的活性化をベースに、文化の花を咲かせるというやり方です。また、地域の財産を生かすことが大前提。
2人とちがった考えでやってゆくこと。

カメラで２日間をウォッチング

○青木光利氏（松山市）
自らの街のプライド・オブ・プレイス（まちの誇り）を掘り起こし、今に生きる私達がさらに何を為すべきか俊英なる知恵を要求されている時代だと思います。

## 参加者よりひとこと

○海からの景観を久々に見て、佐田岬地域の様子を再確認できた。
○メロディーラインの完成で、この地域の住民が便利になったのか、バス・船便が少なくなって実際には老人、子供には不便になったのではないか。開発をおこなう時、弱者への配慮と対応が必要と思う。
○道路網の整備が進み山野にコンクリートの線が目立つ。海岸部についても多くの場所で改良がなされ、自然が少なくなっている様子に寂しさを感じる。
○海岸線の集落が多いのに、海とのかかわりが少なくなった様に感じる。
○自然を活かした地域活性化を図ってほしい。
○広域的な会合で、人的交流ができて良かった。
○今一度地域の文化、芸術等を再調査し保存してほしい。
○地域の物産を拝見し、多くの珍味に驚いた。
○古い建造物の保存に力をいれてほしい。

# ホットなニュース

町の一ケ月の様子を追いかけてみました。

## 夏本番 アジ釣りの季節

わが町の夏の目玉といえば、〝大型あじ〟です。そのアジが、今年も瀬戸内海側の各所で釣れ始めました。特に、小島・足成沖には連日多くの漁船が船団をつくっています。

四十cmものが釣れるとあって、週末には町外からも訪れる客でいっぱいです。船上より見ていると、大きな獲物を釣り上げた笑顔は最高でした。このアジ釣りは、七月中旬頃まで続けられます。

しかし、これだけ多量に収穫されるアジを、釣る産業から付加価値をつけた、販売ルートの拡大等商業ベースを図る対策も必要ではなかろうか。

特大 釣れたぞ！

多くの漁船

## 助役に大谷雅彦氏（三机）選任

助役 大谷 雅彦

去る五月十七日の町臨時議会において、議会のご同意を得まして、その重責の任につくことになりました。

再度助役としてお役に立つことができる機会が得られましたことは誠にありがたく、そのご厚情に深く感謝致しております。

職員、助役そして職員OBとして今迄学んだ経験を踏まえて町政の補佐役として情熱と誠意をもって頑張りたいと念じています。

ご存知のとおり、社会情勢は我が国経済の高度成長期を経て、物質的な面において急速な発展、変化がなされました。その反面、生活意識も変わり、ものの考え方や価値感に大きな変化が現われ、町民の行政に対するニーズも多様化しております。

過疎対策、高令化問題、産業の振興、生活環境の整備等主要な施策が山積する本町にとりまして、将来を展望した「活力あるふるさとづくり」に向かって努力を重ねなければと思っております。

施策展開については、議会との連携を深め誠意をもってご意見を拝聴し、又、関係団体等と行政が一体化して強化に推進することが最も大切と思います。

行政推進につきましては至らぬ面が多々あるかと存じますが、町民の皆様の深いご理解を賜わり連携のパイプ役割を心がけて、明るいあしたの本町展望の礎になりたいと念じますので何とぞよろしくご協力を賜わりますよう心からお願い申し上げます。



## 初夏の風をうけながら 町ゲートボール大会開催

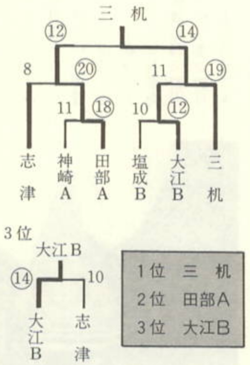
元気いっぱいのプレー

去る五月二十六日(日)、三机小中グラウンドにおいて、瀬戸町老人クラブ連合会ゲートボール親善大会が開催されました。

天気にも恵まれ、午前九時の開会式にひき続き、十五チームによる熱き戦いへと。試合は、三チームずつに分かれてリーグ戦で予選を行ない、上位二チームが決勝トーナメントに進むというもの。

さすがに毎日練習はかかしませんとばかりに、元気ハツラツしたプレーがみられ、「おじいちゃん、おばあちゃんパワー、ここにあり」と見る者を感心させました。

〈大会結果〉




| | |
|---|---|
| 1位 | 三机 |
| 2位 | 田部A |
| 3位 | 大江B |

## お母さんがペンキ塗り・草刈りのボランティア

### 川之浜保育園

「お母さんら、ええ汗流してますな。」と六月七日、川之浜保育園にて、お母さん方によるボランティア作業が行われました。

これは、保育園内にあるブランコやシーソーがさびているのをみかね、早朝よりペンキとハケを持ち、ペンキ塗りや、周辺の草刈りを実施したもの。汗にまみれながら「子供がかわいいですよ」と一生懸命にペンキを塗るお母さん。

作業が終わり、園児といっしょにお昼の給食を食べました。子供たちも保育園でお母さんと食事をすることなどめったにないため、なんともうれしさいっぱいの様子でした。

一生懸命の作業

子供といっしょに

# みんなのページ

## 写真

海の集いより

## わが家のアイドル

小野瀬 博幸・マサヱさんの長男

裕雄（ひろかず）くん（大久）
（平成元年11月16日生）

毎日走って、転んで、タンコブをつくっています。
大好きなおとうさん、早く帰ってお風呂にいれて下さい。

田村 良雄・智恵子さんの長男

仁（ひとし）くん（川之浜）
（平成元年11月10日生）

おふねとワンワンと、おばあちゃんの大好きなヒーくん。お姉ちゃんを泣かしてしまうやんちゃぼうずだけど、毎日元気に保育園に通ってくれるのでお母さんはたすかります。たくましく、やさしい男の子になってね。

## みんなの作品

三机小二年
河野（こうの） 吏亜（りえ）さん

虹の橋を渡っているみんなの嬉しそうな顔がとてもいいですね。楽しい絵になりました。



## スナップ

花嫁便発送

## 瀬戸の若っかもん

—ヤングネットワークシリーズ—③

福島（ふくしま） あかねさん

住　所　瀬戸町川之浜　生年月日　S43．8．26
血液型　A型　　星座　乙女座
職　　場　佐々木医院

- 趣味は　カラオケ
- 理想の男性は　松村雄基（やさしくて、いっしょにいて安心できる人。私の心を素直にひき出させてくれる人）
- 今夢中になっていること　いろんな所にドライブ
- 私の自慢だよ　あまりにも正直すぎて、顔に出てしまうことかな
- わが町に一言！　都会の人は自然というものにすっごくうえています。でも私たちは自然が身近にありすぎて少しずつそれを見失っているのではないでしょうか？自然というのは、私は安らぎだと思います。安らぐ場所が私たちの住む瀬戸だとしたら自然をもっと大切にしてほしいものです。
- （鉛筆）をころがしてみて
  なるべくなら理想の彼を見つけられたらなあって思っています。誰かいないでしょうか？

## 人生いろいろ

—おじいちゃん、おばあちゃんの紹介—

山下安義（やましたやすよし）さん（小島）
明治44年12月5日　（79歳）

〈インタビュー〉

○日頃の楽しみは、
相撲と野球観戦ですか。毎晩母ちゃんとテレビでけんかです。

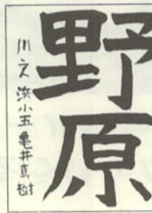
○今、心がけていることは
長生きのためにも、健康づくりで毎日歩いたり、ゲートボールをして元気にやっとります。

○どんな人生でしたか。
小島へ帰り、しいたけ栽培に取り組んできました。当時は運搬機もないので、おいこで二十貫をかろたもんです。
今は、朝五時に起きてあじ釣りに出ています。日に二十キロも釣れる時もあれば、全く釣れん日もあって面白いですな。

○町への要望がありましたらお願いします。
現在瀬戸町は過疎化、高齢化にあります。やはり、後継者がいなくてはなんとも寂しいものです。若者が定住できる施策を望みます。

川之浜小五年
亀井（かめい） 真樹（まさき）君

なん回もやりなおしをした。うまくできてよかった。これからもがんばりたいです。



# ヘルス・アイ　保健センター

## 戸外に出て心も体もさわやかに！

五月二日、健康（機能）回復者教室では、レクリエーションの一環として、遠足を実施しました。

目ざすは、瀬戸町農業公園。あいにくの曇り空でしたがだれも、風車を見たことがないということで、楽しみに出発しました。

昼食をとった後、公園内を散歩してまわりました。アスレチックに挑戦する74才のパワーに、見る側は冷や汗をかきながらの声援。このチャレンジ精神はすごいですね。また、夫婦がより添って歩く姿に長年積み重ねてきた年月を思ったり…。心なごむ遠足となりました。参加者の感想を一部紹介させていただきます。

> 近ごろ雨が多くって
> 心配したが曇り空だった
> あまり気にしないで
> 前を向いて
> 進んでいこうと思う

今日の一歩は小さいかもしれませんが確かな一歩です。あせらず、少しずつでも前に進んでいきましょう！

農業公園で記念撮影

## おたよりコーナー　『町民センターではたらく人へ』

見学させていただいて、ありがとうございました。

町民センターのリハビリ室は、きかいばかりだったのでびっくりしました。

そして、大ホールは六百人近い人がはいれると聞いてとてもびっくりしました。それまで百人くらいだと思っていたからです。

町民センターは、とても広いんだと思いました。いくつものへやがあってすごいです。

町民センターは、だれがそうじをするんですか。教えてください。

いろいろ教えてくださってありがとうございました。おしごとがんばってください。

三机小学校のみんなより

ほかにも塩成小の大久保千春さん、大久小のあべまこと君と井上修二君、川之浜小の佐々木みなこさんからもお手紙をもらいました。

みんな、ありがとう!!

さて町民センターのそうじですが、毎週一回そうじのおばさんにやってもらっています。それと、センターを使った人があとかたずけをすることになっています。もちろんセンターの職員もやっていますよ。

# 得する情報　＝おしらせ版＝

## 年金コーナー　年金制度は世代と世代の助け合い

人生八十年時代を迎え、ますます進む高齢化社会に向けて、これからの老後生活の問題は、社会全体で考え、お互いに助け合っていく必要があります。

国民年金など公的年金は、老後生活の所得として欠かすことはできません。

若い世代が保険料を負担して、お年寄りの世代を支え、自分たちが年をとったときは、次の世代の人々によって支えてもらうという、いわゆる「世代と世代の助け合い」のしくみです。

若いときから国民年金や厚生年金などに加入し、保険料を納めることは、今の時代のお年寄りを支えるだけでなく、自分たちの老後の生活を確かなものにすることになります。

これからも、国民年金など公的年金が安心して頼れる制度であるために、年金制度を正しく理解し、若いときからしっかりとした生活設計をしておく必要があります。

## 行政相談委員に西谷氏（三机）

西谷　栄さん（三机）

国務大臣総務庁長官から瀬戸町担当の行政相談委員に西谷栄さんが委嘱されました。

皆さんの中で、国・県・市町村の仕事、JR・NTT・日本たばこや公庫・公団・事業団といった特殊法人の仕事について、

○説明に納得できない
○処理がまちがっている
○苦情を申し出たが、その措置に納得できない

といった苦情等がある場合、また、

○多数の機関が関係している、あるいはどこに申し出たら良いかわからない
○苦情を直接申し出にくい
○このようにしてほしいのだが……

などの場合に、行政相談委員にお気軽にご相談して下さい。相談は無料で秘密は固く守ってくれます。

電話　五二－〇二一五

## ゆうちゃんコーナー

**◎現金書留要償額の引上げ**

郵便局の現金書留郵便物の要償額は、20万円までとされていましたが、このたび50万円に引上げられました。

ちなみに現金封筒で50万円を送金する場合の料金は、書留料金が1,340円、郵便料金が175円、合わせて1,515円となります。今後とも、ご利用の程よろしくお願いします。

**◎受取人ご不在のため持ち戻った郵便物の保管期間の変更**

郵便物の受取人がご不在のため、持ち戻った郵便物のうち最初の配達の日から10日以内に配達することも交付することもできなかったものは、差出人にお返しすることになっておりますが、ほとんどのお客様が7日目までにお受け取りになっているという実情にありますので、この期間を7日以内と改めました。

なお、受取人の方から期間の延長のお申出がありましたら、現在と同様10日以内となります。

**◎暑中見舞好評発売中**

6月3日より、5種類の暑中見舞葉書を好評発売中です。数に限りがありますので、ご希望の方はお早目においでください。

## 伊方発電所の見学御案内

町では、広報・安全等対策交付金事業（原子力発電に関する知識の普及や安全の確保に関する調査等）の一環として、昭和五十六年度から、伊方発電所へ見学していただいています。

一番身近な伊方原子力発電所を見学することにより、町民全員に原子力発電に関する認識と知識を深めてもらいたいため、今年度も見学会を予定していますので、希望されます団体等は、役場企画課まで連絡下さい。

## 皆さん気をつけていますか？　ゴミを出す時

1　燃えるゴミと燃えないゴミを同じ袋で出すのはやめましょう。焼却場で再度ふり分け作業を行ったり、焼却炉の故障原因になります。

2　ごみを出す日は必ず守りましょう。各地区で集収日が決まっていますので、その日にゴミを出して下さい。犬やカラス等がゴミをちらかしたり、悪臭などで周辺に大変迷惑となります。

## 人々のうごき

（5月末現在）

| | |
|---|---|
| 世帯数 | 1,275戸 |
| 人口 | 3,284人 |
| 男 | 1,513人 |
| 女 | 1,771人 |
| 本籍数 | 4,341戸 |
| 本籍人口 | 14,283人 |

広報に掲載不要な方は、
届出時に申し出て下さい。

## 平成3年5月分

### 末長く お幸せに

### お誕生 おめでとう

### おくやみ

## 統計コーナー

### 事業所統計調査と商業統計調査にご協力を

七月一日現在で事業所統計調査・商業統計調査が全国一斉に行われます。

事業所統計調査は商店以外の事業所で商業統計調査は商店を対象として同時に実施されます。

集められた調査票は統計上の目的以外に使用することは固く禁じられています。

したがって各事業所及び商店のプライバシーは、法律によって、しっかりと保護されます。

六月下旬に調査員が調査票の記入をお願いに伺いますので、ご協力ください。

調査委員は次の方々です。

○藤渕　孝枝さん
○宮下美奈子さん
○村上ヒロ子さん
○坂本貴美子さん

## 編集後記

今月はいろいろな所へ取材に出かけることができました。

▽五月末に、一泊二日をかけてシンポジウム・海上ウオッチングに同行しました。私も、船からの半島を眺めるのは五年ぶりということでとてもなつかしく感じられました。また、多くの人と知り合うことができ、貴重な財産ができました。

▽生まれて初めて〝アジ釣り〟というものに、チャレンジしました。海っ子の自信はあったのですが、アジさんにえさをいっぱいあげました。

▽大久の地引網に行った時のこと。魚が打ち上げられた時の子供たちの表情は、なんともいえず、写真でご覧下さい。